

四天王剽盜異錄

後編

二

13
974
7

3 4 5 6 7 8 9 170 1 2 3 4 5 6 180 1 2 3 4 5 6

八進 / 3
944
7

山博三
本助
勲績

源家 四天王剽盜異録卷之七

東都

飯台 曲亭主人著
門人 魁菴 癡叟 校

第十三級

保輔偽多田城小使をれ談
附 姫松悞て賊船を誘ふ事

かゝる 齊垂保浦の玉瀬が家を出る旅館に立ち入り。関の次郎あまらるぐの
故に相つりし。いれぬけくまゝ姫松を救ひ知とぐらふが橋子。太刀烏帽子
素襖のいん准備せむるあふぐらふ。このあつらふあまらるぐき。縉紳の館もつたれば。
今夜都小謀びより生公家との襲束剽来す。去来起程すといふを聞きし。
皆慌しく旅館と出都とる走りける。十里の路とのふ棟をたはれぬ。久我
繩をまきく来ぬころ。日の中や暮らるが。折しも五月八日の夕ぐれ。藤原

州名実録

卷之七

一

李孝大江匡衡二人相伴て宇治の離宮祭小参詣あり。下向の道より保捕
 亦よめたあふたり。保捕之月経不まうしる。都ふらち入るまじくもさし。その
 公家の衣裳を剥とれと下知をれば大膽ふ敵の衆賊うけうられしひも
 のど。終に路をさし塞ぎ刀を抜て走りかゝる。とひあさるのめれば番頭仕丁
 度かうしあひ。右往左往小乱と騒ぐ賊ハ既小近づたる。足纏ひの責侍余情
 主も家隷も衣裳を脱ぎゆくゆく声く小鳴りたる。匡衡の雑色平延尚
 布衣の袖拂り捨憎れ偷見ホ廣言する。敵も敵ゆるのぞ。どくもあさる乃
 行ふとととと太刀閃く。嘯く懸ねのりせも撃られと大勢覆と考合せ。
 中ふら圍戦ひかり。雜人下郎ハひびくあ。轎子と扛捨逃ゆか引こへて
 衣裳を剥鳥帽子を脱ぎ裸身も。犢鼻褌のうあぐ引。うらうどく
 近もわり。或はうらう衣と挽助のくとぶもあり。えさかりる分野なり。

事已不急あま。匡衡も李孝も轎子の裡より下立。持長の露と襟ぬけ。
 太刀技設て押り。延尚ハ地列を武立む。その身多勢み圍るといふ。いざ
 一所も瘡をうけど右小衛左小當り一歩も去るど防戦。この時保捕ハ関の
 次郎さの外の畔よりうら廻る。李孝匡衡を撃んとせれば二人ハさうぐ
 氣色あり。受つあがり破れど。元見兇勇の魁賊と。風流の才人と。一騎撃
 の化粧軍。對應とせうもあざれば。保捕がホ太刀を李孝うけ外して。さ
 鳥帽子と目の上まじく切さげ。色搦らととんとと入。保捕つとあり
 くしど組逐小押へく首と搦式部太補匡衡ハ関の次郎と戦ひ。左の指を
 切落され既小危くもえさる。折し延尚ハ一條の血路を切つた。刀を打提
 走り来り。関の次郎が鬨と引搦。首と搦んとささる。次郎ハ首と搦し。と
 延尚がもみ丁と握り。とみわと搦合。左右保田や。畔の細道よりうら。

延尚足成踏く。田の中へ搏び墮されど組さるも放さる。二人ひらく。落馬り
 漬渾ふあり。挑あふ。この隙小青侍も。此首彼首より立くら。医衛を俱して逃
 行ら。保捕へは月外をせりと返らふ。わく。轎子衣裳こそ所用る。彼
 命らり。いへせん。関の次郎がゆおぼつ。あきま。まが。これ。助む。と。と。ひ
 く。あ。び。え。の。と。と。ろ。小。走。り。う。ま。へ。二。人。は。も。月。田。の。中。小。あ。り。て。挑。居。る。関。の。次。郎。は
 勲小衷甲を被り。たれ。勒。肚。中。の。間。より。泥。入。こ。も。く。身。も。お。り。く。延。尚。へ。又。布。衣。も
 小袖も引ちぎら。捨。れ。進。退。も。便。よ。く。遂。ふ。と。小。か。り。く。あ。ら。や。次。郎。移。り。と
 め。ぐ。え。え。う。と。と。ろ。小。保。捕。が。う。り。銑。鏡。延。尚。が。鳩。尾。骨。小。裏。か。く。と。う。り。下。し。立。つ。
 久火所の痛も。不。堪。も。や。ど。仰。さ。る。不。倒。る。公。次。郎。も。及。し。て。首。成。板。の。時。に
 延尚。あ。ら。せ。ば。医。衛。も。勢。れ。る。ふ。べ。し。に。成。ま。れ。郎。ホ。の。り。く。う。り。と。入。る。延。尚。が
 勇敢を賞し。その陣没。成。惜。み。ぬ。か。と。保。捕。へ。集。と。り。う。る。轎。子。太。刀。衣。裳。成

小賊小扛擔で。浪速の旅館。小。立。つ。見。ば。その。夜。も。既。小。明。ふ。く。う。不。題。多。田。の。城。少。い。
 季武姫。松。今。日。未。の。刻。丹。首。を。削。ら。う。と。ま。え。さ。り。く。と。と。ば。その。方。が。ぬ。れ。人。は。さ。う
 あり。こ。う。の。く。れ。僕。婢。小。至。れ。ま。く。深。く。これ。を。憐。め。り。浩。如。小。袴。壱。保。捕。大。紋
 の。直。垂。大。紋。い。ま。が。小。被。は。後。車。居。ま。成。持。り。轎。子。を。籠。せ。つ。城。門。ら。く。素。じ。ぶ。
 ま。ぐ。一。と。走。り。ま。く。関。白。殿。下。の。内。使。山。崎。播。磨。公。系。向。せ。り。と。い。は。せ。り。と。と。ど。
 奏。者。の。侍。ら。頭。の。内。使。何。の。や。と。と。驚。死。怪。し。忙。し。く。知。じ。く。保。捕。と。正。廳
 小。誘。ひ。ま。く。こ。の。首。公。長。臣。仲。光。小。告。仲。光。と。ま。り。ち。内。使。小。調。り。て。名。字。成
 通。下。謹。く。殿。下。の。台。命。と。承。れ。時。小。保。捕。が。い。く。く。殿。下。定。教。公。極。便。乃
 内。証。あり。その。故。に。當。家。の。侍。女。姫。松。と。い。ふ。の。罪。あ。り。て。近。日。死。刑。に。行。く。の。は
 その。罪。え。あり。ま。く。小。彼。姫。松。が。母。に。前。北。政。所。小。は。と。ま。り。し。の。の。か。り。成。ぬ
 り。く。只。言。こ。の。の。成。歎。た。内。威。勢。成。り。く。女。兒。が。助。命。あ。せ。る。と。希。こ。と。と

この眾を贖く。百をばたせ。姫松と使不遊。李武を追放せよと
 宣へば。仲光の意をむらう。ふかくこころ。感涙をさめ。實小名將の
 賢者へ。九知の乃。ふとふ。ふとふ。只顧賞嘆。前と退れ。あつて
 やう。この思。李武。ふとふ。速小大功。をさ。ゆき。おへし。つへ
 李武へ。只感激の涙。ふせび。遠小。館を。追放せ。仲光。又。姫松。ふ
 使者。引。主人の。回答。速。保補。仕。課。と。竊。小。よ。こ。び
 姫松。と。併。ひ。多。田。の。城。ふ。ふ。路。二。町。あ。ま。の。松。原。お。李。武。追
 つ。ら。り。姫。松。か。く。と。つ。ら。り。と。ほ。く。携。つ。た。誠。小。ふ。身。の。過。も。こ
 起。り。く。濡。き。ぬ。ぬ。被。せ。ま。わ。せ。己。小。命。を。喪。ん。ぐ。ふ。と。ふ。憎。と。お。は
 さん。が。も。過。世。の。悪。縁。あ。ま。ま。今。さ。悔。く。る。道。を。か。く。と。ま。ひ。の
 身。と。ま。り。の。身。を。使。な。く。け。る。べ。ん。と。う。く。ま。親。里。小。身。と。せ。の。く

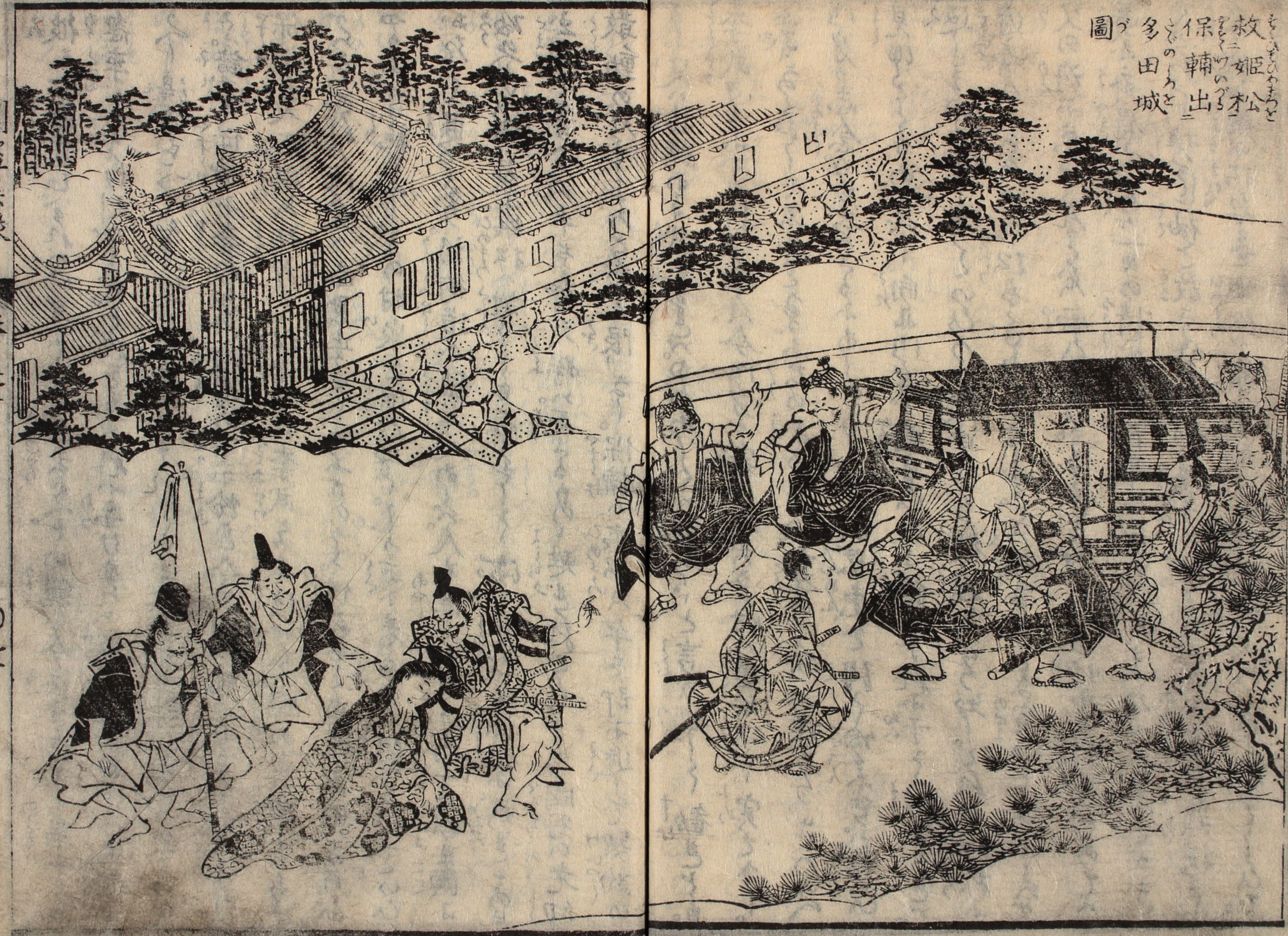
う。父。由。緒。あ。る。武。士。あ。ま。ま。の。あ。く。の。討。ら。と。言。ふ。竭。く。勸。ま。り。も
 李。武。さ。ふ。う。け。引。と。し。今。の。身。が。家。小。養。は。う。時。の。虚。か。ひ。く。実。と。あ。り。
 ふ。ま。あ。ま。ま。と。ふ。ま。と。あ。ま。の。ふ。た。の。ふ。た。ふ。孝。の。う。の。ふ。孝。か。り。さ。ん。の
 内。身。が。志。念。つ。も。あ。ま。ま。あ。ま。ま。の。一。ご。思。免。を。得。く。ゆ。き。せ。ば。再。び
 見。ゆ。く。も。あ。ま。ま。向。み。の。身。が。贈。り。ひ。め。鏡。も。ま。か。つ。用。ま。り。と。ば
 返。す。ま。か。つ。も。あ。ま。ま。の。ひ。り。懐。中。よ。り。被。鏡。か。さ。り。知。り。これ。を。姫。松。小
 遍。と。ん。と。れ。ば。姫。松。も。あ。ま。ま。と。す。こ。の。情。あ。ま。ま。宣。ひ。と。は。ま。ま。の。が
 父。の。身。小。あ。ま。ま。の。感。ひ。あ。ま。ま。と。得。く。の。ぐ。地。小。の。あ。ま。ま。の。て。へ
 憂。小。弁。眉。く。君。が。一。日。の。情。小。妻。が。百。年。の。命。も。任。せ。ま。か。つ。せ。ん。と。う。ま。ま
 く。だ。れ。く。携。り。袖。と。放。さ。り。保。補。の。橋。子。の。裡。より。この。光。系。小。熟。視。く。
 李。武。と。潜。小。折。れ。よ。せ。姫。松。が。節。義。足。下。の。剛。腸。感。入。ぬ。ま。ま。の。こ。う。ひ。て。

兼盛異録

卷之七

五

救^{きう}姫^{ひめ}松^{まつ}公^{こう}
保^ほ輔^{すけ}出^い松^{まつ}
多^たの^の田^の城^{じょう}
圖^ず



列伝五巻、録

卷之七

〇二

多田城

救姫松公

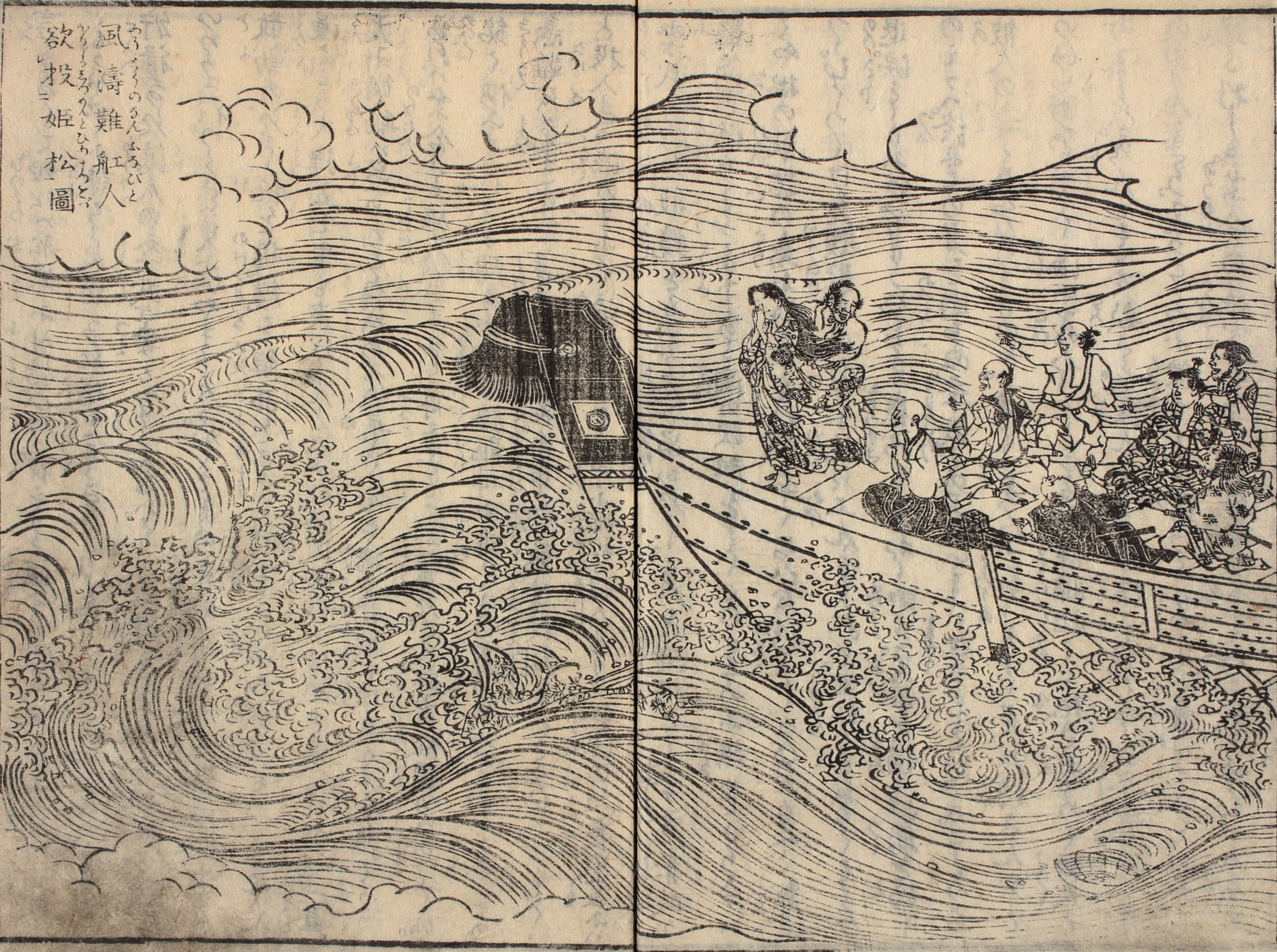
保輔出松

が恩を一五十一父母小告ぐ。中不袂をぬじり多るべ父母へもめり。李武が義
 氣のあらんをゆき大に感嘆。かゝるおのり人からせば。も方より。おと誓
 ぶ。ももさる。しを。信ひ来さる。こと。強き。多き。色。の。その。人の。所。在。さ。小
 され。今。の。困窮。をも。救ひ。く。い。身。が。為。小。篤。く。報。へ。べ。この。心。瓜。子
 とも。こ。ある。れ。あ。ど。さ。も。さ。ぐ。賺。ら。ら。く。よ。ら。ら。ひ。の。酒。宴。酬。應。あ。く。く
 四五日。を。経。つ。と。い。へ。も。如。松。の。露。じ。り。も。李。武。が。の。心。忘。る。隙。あ。く。と。も。か。く
 ても。彼。人。も。家。の。来。の。あ。い。住。家。の。あ。さ。さ。密。不。違。さ。人。と。せ。え。し。が。
 く。音。耗。や。ち。ま。盟。の。信。あ。え。な。と。ひ。く。様。頼。小。立。也。く。と。ま。の。空。か
 瞻。と。入。相。の。鐘。も。し。り。り。の。哀。の。ま。ま。と。れ。も。あ。い。誰。と。あ。く。と。変。の。内。へ
 一。個。の。肥。巾。を。投。入。さ。る。に。忙。し。く。拾。ひ。とり。打。ち。た。く。さ。る。一。面。の。鏡。と
 一。封。の。艶。筒。あ。り。く。李。武。と。記。し。た。ば。婿。さ。の。あ。く。あ。く。封。皮。押。前。て

これ。を。讀。ひ。小。き。の。あ。ら。ぐ。の。地。方。小。住。家。を。得。た。ば。豫。く。約。せ。し。今。夜
 初。更。の。頃。堀。を。踰。り。溜。び。出。り。く。ま。外。面。小。あ。り。く。は。ひ。走。れ。て。い。ま。い
 一。つ。も。消。息。せ。ざ。れ。ば。日。外。帰。り。な。し。く。鏡。を。の。り。證。据。と。書。き。り。く。
 如。松。の。お。へ。く。あ。ま。さ。び。を。讀。く。し。ら。び。小。堪。を。溜。り。艶。筒。と。鏡。を
 懐。に。暮。る。瓜。遅。く。と。ま。り。ほ。ふ。早。晚。暗。号。の。時。刻。あ。り。ぬ。ま。い。父。母。一。封。の
 送。書。を。あ。い。さ。め。な。る。と。さ。く。も。人。目。の。関。守。お。は。し。く。く。こ。も。瓜。書。小。違
 か。ら。さ。さ。バ。立。ち。あ。ら。筆。瓜。ら。く。く。
 世。の。中。れ。憂。あ。堪。ぬ。か。し。ひ。ど。と。お。り。へ。い。と。人。の。急。し。死
 と。出。居。の。聲。ふ。く。と。忙。し。く。庭。下。さ。ら。松。が。枝。を。つ。ま。ひ。つ。幸。い。堀。に
 踰。越。外。面。小。飛。り。も。た。忽。ち。皂。服。小。あ。り。く。い。ら。れ。眼。罩。を。戴。る。男。如。松。を
 小。脇。小。搔。く。足。小。信。せ。く。走。ら。る。遂。小。浪。速。の。浦。小。い。く。く。大。や。ら。る

船の裡に飛舟ありぬ。その時松崎の舟より。彼人この船におく。その人
 築紫の果も。思ひく。ひらめふ。こゝと。猜し。船の四隅。うごせ。その人
 お舟。くも。あし。この舟。うご。疑ひ。ま。心。更。不安。く。時。船。館。あり。あ。こ
 一。個。の大。漢。徐。くと。出。来。り。く。い。が。意。人。来。ま。る。う。これ。舟。を。ま。り。こ。え。し。と
 の。舟。松。崎。の。舟。を。こ。の。人。を。こ。る。ふ。曩。小。園。白。実。頼。公。の。舟。使。と。稱。し。山。崎
 播。磨。公。と。い。ふ。ゆ。り。の。舟。し。う。その。時。の。形。容。あ。い。あ。い。と。怪。し。打。扱。か。れ。ば。
 ま。と。く。驚。た。怕。し。く。回。答。り。あ。り。く。あ。り。く。あ。り。く。彼。大。漢。近。く。居。て。ま。れ。殿。下
 の。舟。使。と。稱。し。し。う。舟。を。救。ひ。お。ま。ぐ。の。謀。め。く。実。は。袴。垂。と。い。ひ。の。こ。三。千
 兩。の。金。を。得。ば。舟。を。救。ひ。お。ま。ぐ。と。平。太。郎。小。約。し。れ。ど。い。び。その。容
 顔。の。婢。娟。あ。る。を。こ。る。く。勿。論。恋。憐。の。心。を。生。じ。父母。お。贈。り。ふ。こ。ら。あ。り。と
 し。ども。中。途。お。奪。ひ。去。り。た。へ。又。三。千。金。を。得。ご。ら。れ。ば。如。此。く。謀。て。は。舟。と

李武を誹り。彼鏡をも。方。お。留。め。た。く。これ。を。證。据。と。し。今。宵。李。武。が
 艶。筒。と。稱。り。し。る。下。あ。る。園。の。次。郎。を。こ。の。ま。ま。と。し。う。不。諱。せ。し。り。今。の
 ち。や。檻。の。獸。如。の。身。お。ひ。く。ら。ん。ば。ゆ。く。と。ひ。お。持。り。く。な。び。た。ま。へ。と。執。り
 つ。む。つ。け。た。頼。髯。を。り。付。く。抱。死。上。ん。と。ま。れ。を。姫。松。に。お。ま。り。く。こ。ら。ひ
 退。涙。く。り。お。り。く。ら。ん。ば。ま。ま。お。慮。せ。し。く。か。却。り。父母。を。損。り。れ。罪。を。お。り
 の。こ。う。へ。終。丹。の。舟。を。過。ら。ぬ。李。武。の。舟。の。枕。を。お。り。く。こ。ら。ひ。と。し。う。こ。ら。ら
 彼。人。の。妻。も。こ。ら。ひ。つ。の。め。を。ま。ま。と。し。う。吳。人。お。死。し。し。と。し。う。舟。を。汚。さん。や。と
 の。心。も。あ。い。ま。が。く。海。お。飛。入。ん。と。ま。る。が。保。補。吐。く。抱。き。こ。め。て。賑。然。と
 舟。を。ひ。死。ん。と。ま。る。た。殺。さ。し。と。生。ん。と。ま。る。も。活。き。ま。し。と。ま。る。今。宵。違。へ。命。
 の。心。も。あ。い。ま。が。く。舟。を。こ。ら。ひ。不。待。ふ。ま。し。と。し。う。こ。ら。ひ。と。し。う。憂。同。く。今。と。い。ふ。と。し。う
 舟。を。お。り。く。ま。あ。い。の。旅。客。五。七。十。人。の。船。お。お。り。く。ま。あ。い。と。し。う。こ。ら。ひ。と。し。う。互。母



風濤難舡人
 欲投姫松圖

言もあつて姫松の船客小舟に掛びつ。夜さうう決ふりては支黨の偷見
 ども。うらむぐ小諫らう久由ある操をそらんより。あつては主小徳ひあつて
 行録ある浪人の季武が妻とからんあつて。うらう小勝るべし。あつて。且しつて
 つらうつ。つらう更ふいやまうらう。かくてその會明舟子健人追風よしと
 散動めりて。帆を揚。纜を解。西を引。船を和。田の水崎も後に見る。
 漫くう大洋五七里も来とらん。あつて海風俄頃小吹のきく。逆波暮直
 天小衝船の只一ツとらん。あつてめづり居る。今や橋も折。楫も壊。えんとそらん。
 あれば。あ合する旅人へさうあり。舟子ども大驚然。あ船は怪類のつれく。
 銘く何ふせん。あつて閉る。物を海龍神小進。その求めのきを試。この
 急難免まのへと叫び。衣裳手巾印籠笠杖割。筆のこくひ。あつて。
 と投入。波のまふく流。ゆく。その中小。堆松が投入。紅深の組衣の裳ふ。

五彩をりて。唯姿が續。るもの。且し流。きり。ず漂。水小濡。きり。衣の色。
 東海の珊瑚。立田の黄葉。小異。あつて。着く。逆巻浪とらん。小千尋の底小沈。
 う。舟子ども。これを。あつて。龍神の求。あつて。女子あつて。あり。あつて。一人の
 命をりて。衆人あつて。換。あつて。只も。その。あつて。薄命とらん。あつて。諦め。あつて。ひも。あつて。
 姫松。あつて。抱。あつて。既。あつて。沈。あつて。時。あつて。この。あつて。船。あつて。あつて。合。あつて。せ。あつて。る。あつて。行。あつて。脚。あつて。の。あつて。女。あつて。僧。あつて。住。あつて。こ。あつて。
 を。あつて。押。あつて。さ。あつて。め。あつて。龍。あつて。宮。あつて。城。あつて。の。あつて。死。あつて。人。あつて。の。あつて。汚。あつて。穢。あつて。を。あつて。忌。あつて。む。あつて。と。あつて。う。あつて。縦。あつて。ひ。あつて。海。あつて。神。あつて。の。あつて。女。あつて。子。あつて。が
 求。あつて。あつて。も。あつて。水。あつて。中。あつて。小。あつて。投。あつて。入。あつて。ま。あつて。あつて。立。あつて。地。あつて。小。あつて。命。あつて。終。あつて。る。あつて。死。あつて。穢。あつて。を。あつて。忌。あつて。む。あつて。と。あつて。ひ。あつて。な。あつて。る。あつて。龍。あつて。宮。あつて。城
 あつて。納。あつて。受。あつて。の。あつて。ん。あつて。や。あつて。り。あつて。か。あつて。る。あつて。例。あつて。も。あつて。あ。あつて。今。あつて。の。あつて。女。あつて。子。あつて。小。あつて。舟。あつて。小。あつて。舟。あつて。を。あつて。引。あつて。お。あつて。せ。あつて。凡
 の。あつて。ま。あつて。あつて。流。あつて。の。あつて。人。あつて。海。あつて。神。あつて。の。あつて。求。あつて。め。あつて。の。あつて。あ。あつて。つ。あつて。の。あつて。船。あつて。忽。あつて。ち。あつて。流。あつて。る。あつて。船。あつて。意
 ろ。あつて。れ。あつて。べ。あつて。と。あつて。の。あつて。の。あつて。あ。あつて。と。あつて。理。あつて。あ。あつて。と。あつて。衆。あつて。皆。あつて。れ。あつて。小。あつて。従。あつて。ひ。あつて。俄。あつて。小。あつて。舟。あつて。を。あつて。引。あつて。お。あつて。せ。あつて。姫。あつて。松。あつて。を。あつて。移。あつて。し。あつて。ま。あつて。せ。あつて。ら。あつて。う。あつて。船。あつて。も。あつて。後。あつて。風。あつて。の。あつて。東。あつて。西。あつて。吹。あつて。ら。あつて。れ。あつて。船。あつて。が。あつて。あ。あつて。ら。あつて。船。あつて。の。あつて。東。あつて。北

第十四綴

術を傳く道魔術み死され談

附 二條河原保輔鬼同麻呂を賣る事

袴垂保輔八國の次郎ホトリ。室津小逗留洞房の裡。日公おろり。驕り
 限る。財へ限りある。あふひかれば。彼三千金も。今ハ残る。あく用ひる。ぬ
 一日保輔一人書写山を二又せん。朝まはれ。小起程。及す。この名と
 瓜屋。焚く。不。頃。五月下旬の。ある。立野の川水高。く。流る。なるも
 見えざる。を。水戯。水。得。り。へ。か。る。時。か。も。松代。をも。備。心。を。流。る。を。か。と。り
 ころ。衣裳。脱。ぎ。頭。お。さ。げ。輾。く。この川。公。涸。ぎ。越。す。衣服。か。え。の。こ。ろ
 裳。ひ。汗。の。石。お。尻。く。く。水。の。あ。る。る。公。視。居。り。小。忽。ち。長。髯。白。眉。の。老。僧。
 龍野の。さ。より。出。ま。り。川。と。ち。く。歩。く。手。お。り。杖。公。水。中。お。投。入
 る。と。や。ぐ。飄。と。杖。の。上。お。飛。ぶ。を。終。り。と。や。ぐ。こ。の。岸。ま。る。ぬ。

その形勢。前年。熱田。わ。く。面。あ。つ。て。行。元。が。属。あ。の。く。実。お。神。仙。中。乃
 人。と。え。く。保。輔。大。小。驚。れ。怪。し。む。と。と。拜。伏。し。老。師。祈。が。つ。を
 奇。術。を。傳。く。の。く。と。お。僧。へ。應。じ。て。こ。り。あ。ぐ。履。を。掲。げ。保。輔。額。を。二。と。踏
 され。履。の。脱。ぐ。を。の。傍。お。死。り。多。う。され。と。保。輔。お。怒。ま。れ。氣。色。々。々
 忙。し。く。彼。履。を。と。ら。う。恭。し。く。獻。さ。げ。僧。呵。く。と。う。ら。笑。ひ。孺。子。と。と。分。り。く
 黄。石。と。と。款。く。下。邸。の。地。橋。お。の。ぞ。と。い。あ。く。その。履。公。穿。か。ん。の。せ。ぬ
 終。る。瓜。保。輔。へ。あ。は。慕。ひ。ゆ。け。お。沢。田。の。こ。ろ。あ。る。松。原。の。裡。お。り。と
 家の。諸。折。戸。を。お。り。て。入。り。保。輔。も。その。後。つ。ま。り。入。る。様。の
 迎。つ。て。る。僧。保。輔。お。り。視。く。孺。子。お。り。術。を。傳。受。ん。と。と。も。
 いう。は。お。付。ぶ。死。は。相。親。光。悪。め。と。虎。狼。の。ど。か。お。ふ。盜。賊。の。首。領。あ。る
 へ。お。は。お。り。て。術。あ。る。め。は。虎。耳。翼。を。添。か。ら。う。こ。の。ゆ。え。お。り。と。と。も。



擲杖道魔
 涉龍野
 川圖



保捕うらくとあざむきひ小子博く書を讀むとつゞもとの緊畧
 を守ると夫王莽の赤眉ふ亡び三國の黄巾の乱より勇れ英雄時公得ど
 しく亡るるの後世うらむど賊とも湯の夏の位を慕ひ周の殷紂を討人
 これを賊とせむとて却て聖とせむに何ぞや。時を得れば況や魏の
 漢を滅し晋の魏を滅するも大盗ありと覺るるの之彼盜跖が孔子が
 罵れ確論小子久しくこれを甘むと悼む色なく谷倉僧の言公潔くして
 近く扱え汝れをもちりしるる將らむとて来さる。抑汝の何んぞとやその
 名公昔れとの保捕やむび礼儀を二り。これ豪首誇聖保捕之師を神
 仙うねがりの道号公實んとし僧改む。これ加茂保憲が陰陽の道公
 学び得る。道魔法師とせられ久しく京洛六條坊門万里小路小任るが近曾
 西宮殿高明の相語を得て清慎公頼公を咒咀せんととす。小阿部晴明

又のへされ播州へも本國多れば逐ふこの地小放とせし。よりそふも天下
 小冠とく。この憤をさるさんとかりも年己ぬ老く。餘命いづくもあふれ
 病死んくおりのひ。小今汝を得くころ只顧満足は汝の術
 公學びし志を願く。朝家公謀及く下り。術神妻ふ測るるとつゞも。
 その宗とせむとて三術あるとて。小変化。二丑凶形。三小死活。是あり変化と
 その才の万物小変とて。歌を妖とぬ。小凶形とて。小機小臨。形公隱とて。
 小死。これと活と。とれぬ。その人勇敢剛正あれば。これを殺し。が。これ
 死。入。小由らと。是後世道形の祖。この術ま。女色小瀨。時。小。淫鬼を遠く。

術不死し。死後を母その毒を流しぬ。術をとりぬ人を知りて、小枝
 といふも侍あるとありきと云。これをもやひあるべし。間話休題保捕の
 次郎亦その高嶋ふりるる。齋明園の太郎亦出ひて。恙めれ再會
 を祝し。元より討手れ向ふといひ。ハ跡ある虚言と云れ。保捕は
 悍色なく。放ふ近村を劫掠し。良賤士庶の家を論せ。艶麗ある女子
 のふか見まは棄ひたり。妾と。只淫酒をのり。才の勉め。又五十年
 の月日公をを送り。話不在下。丹後守保昌ハ保捕齋明が年来
 高嶋の城不龍。残暴を逞き。深く憤り。彼亦積悪おろけ
 あらざれば。終る退治の軍勢をむけ。これその所縁のり。れ。と
 こと公控ぐ。このか。都らる。ふのせ。天聽を驚。一。世の
 人口。から人も朽。され。と。勅命。蒙。て。干戈を擯。が。は。は。

とく他人のふを借ら。謀と。輒く彼亦。擯捕。を。と。ひて。毎日
 小肺肝を摧。とい。も。便。を。得。の。ま。ら。み。公。ひ。を。び。れ。と。び。り
 杖を曳く。庭上。ふ。と。ら。池。ふ。ら。ら。夕月の。爽。る。公。打。る。め。水。の。と。み
 照月。あ。か。が。ど。今宵。秋。の。寂。中。み。殊。一。天。雲。霧。く。樹木。の。影
 水。ふ。ら。ら。隈。ま。れ。不。怪。一。や。一個。の。癖。者。松。の。梢。不。溜。び。居。る。鮮。明。の。え
 くら。保昌。の。と。の。と。ら。水。中。や。又。定。め。お。れ。く。竊。不。銑。鏡。公。抜
 出。し。牙。牙。背。り。と。丁。と。打。バ。癖。者。肘。を。破。く。と。忽。ち。樹。下。不。撞。と。墮。る。公。
 走り。う。ら。り。て。巖。縛。め。縁。故。を。責。問。バ。癖。者。苦。痛。不。堪。の。と。これ。ハ。高嶋。の
 謀。者。あり。主。領。保。捕。久。く。都。鄙。の。美。女。公。め。集。る。い。ま。と。ら。ら。ふ。と。と。且。は
 女。あり。と。ら。ら。を。と。ら。不。謀。入。と。せ。く。和。泉。式。部。を。棄。去。し。め。ん。と。且。は
 を。助。く。式。部。を。誘。ひ。ゆ。ん。乃。不。支。黨。二十。餘。人。甲。夜。より。築。垣。の。外。不。隱。

居る。その暗号をすらくと詳し首伏あがりければ保昌大およりらび哉。小
 家臣を呼びつゝ謀を傳へ又一人物馴らる郎お彼賊が衣裳を被せし。
 如此くせしとさすやけ。このととやうく塀の上を跨り暗号の笛を吹あ
 せ。支黨の賊二十餘人築垣の蔭より一個の轎子を扛り出。此のとき集
 ところの保昌の伏勢一度お起り。一人も漏さど生捕り。保昌又その衣裳を
 剥とり。跡を首を刎させ。さうくもめれ賊を引出。汝命をすし。其
 箇様くおせしと命をいれ。この賊一隊も及む。その計を承保昌又下知
 を傳へ。二十餘人の賊の衣裳を。が却お被せ別お二十人の士半お
 計を授け。徑より高嶋おをすませ。件の轎子お。火器弓矢お入。士半
 お扛せ。その身もおるどお扮あ。彼賊を御導し。己お五更の頃及お高嶋
 の城門お走り。御導せ。賊門をわらうお敲。和泉式部と奪ひ

来りしと。やうく城門をせられたりと呼り。折ふ。関の太郎前。怪せん
 なるお近御お出。さうあ。このと。関の次郎。その声おや。音街の窓より
 なる。疑ふ。ぬ。支黨の小賊。ある。おる。り。下知して。大お
 門扉を。お。保昌を。め。二十餘人の。即お城中。お。と
 奔。喊を。吐。懸。切。ま。衆賊。これ。驚。夜討
 を。打。入。弓。鎗。と。慌。忙。驚。馬。鞭。と。當。弦。小。前。を
 扱。右。往。左。往。お。乱。を。強。く。と。得。り。と。薙。た。れ。賊。ハ。勢。こ。と
 の。一。柱。も。支。得。せ。れ。先。お。逃。走。り。路。を。死。方。お。追。ひ。詰。り。後。乃
 谷。お。陥。り。死。る。り。れ。数。を。さ。し。寄。り。ま。と。く。勇。を。奮。ひ。て。城。お
 火。お。く。煙。の中。より。嘯。懸。れ。関。の。次。郎。倍。と。ん。ひ。ひ。ひ。人。々
 の。逃。足。り。寄。り。正。しく。小。勢。ある。と。さ。う。あ。ん。輩。ハ。吾。お。つ。け。と。呼。り。て。

二尺八九寸ものうんと入りぬれ太刀を抜く。保昌を警るともなれが。保昌はと受ふ。十合のまじり戦う。その隙に保捕も弁明も奔くと物具。大太刀が閃く。縦横を礙り切られど勝り。寄手は士卒更一步も退さず。二人を中かとりとめ。漏れまじりと挑め。この時園の次郎は数ヶ所の瘡を得。盲打不切つるを。保昌丁と受ふ。一を聲號てかると入る。次郎が五體二つみしり。左右へ撲地と倒る。されど次郎がさへ防死戦ひ。その隙に弁明はうらうらと一方を切ひ。後の山つゝしは落ゆ。さうな隙に徑より奔り。二十人の士卒。忽ちこれに搦捕れ。保捕はるほろの時まじり。城を踏まじり。挑む戦を。保昌はうらも。この者を生捕せむと。あひひ。保捕寄手の大将を。保昌はうらも。保昌はうらうら。前非を悔。降参せむ。命に助け。とて。

とひりり。潜し半弓を取。まじり。引あがり。矢を近く。さる。よろ引發さんと。されば怪。保捕が形。風小煙の消る。往方も。あゝどありゆけ。保昌も即おも。さる。發然と驚れ。怪。只徒小空中。膽つめ。と。浩処。搦手より廻り。二十人の士卒。弁明と生捕。来む。保昌士卒の軍忠。賞。明日都へ引。と。あは。嚴。傳。おた。このころ。いま。秋。暑。烈。く。流。け。痰。口。入。り。苦痛。小。堪。ざ。り。ん。弁明。その夜の中。號死。小。死。り。保昌。須。吏。小。賊。寨。を。抜。く。奪。れ。来。り。美。女。小。を。救。ひ。出。す。お。あ。く。その。故。御。送。り。久。じ。め。次。の。日。弁。明。園。の。次。郎。以。下。討。と。と。の。首。百。餘。級。と。都。小。登。り。縁。由。を。奏。聞。せ。り。主。上。保。昌。が。武。略。を。御。感。の。の。せ。り。や。く。正。四。位。下。左。衛。門。尉。を。補。せ。り。安。下。某。生。再。説。袴。垂。保。捕。の。逃。形。は。



川
五
六
年
卷
八
七
三

保輔鬼同九
大闘妖術
圖

集
益
異
金
卷
一
六



十
七

さとどど。價のちひ行こひ行こひどと問こひひ。金百兩を賜たまへと申ます。いふも汝あんぢが
 いふも。價のちひをささぐれば頼信よりぬが館たて不ひた牽ひたゆれて。いふも。畷山えいざんより歸かへり
 来きり。待まちと宣のたまへれば保捕まもり敢あ然らと打うち。いふも。馬うまを賣うり。又また五七
 里りも立たち。宿やども。いふも。か。いふも。言こと不つ繁な。いふも。
 捨すて。馬うまを牽ひつ。去さる。頼信よりぬ朝臣あそは。彼馬かのうまも。天下てんかを双ふたの駿うま足あし
 あれとえ。いふも。只ひた官つかさどこれを惜おしむ。いふも。その男をとこ且また。今いまこ
 ろ。いふも。價のちひさ。保捕まもり潜ひそふ。又また馬うまを牽ひつ。保捕まもり
 り。いふも。いふも。徒た者もの不めい命めい。いふも。いふも。白銀しろがねを救たすむ。保捕まもり
 不めい命めい。いふも。保捕まもり是こゝに賜たまふ。いふも。馬うまを引ひ連つぐ。いふも。いふも。出い
 去さる。頼信よりぬ朝臣あそは。いふも。名馬めいばを得える。いふも。いふも。限かぎり。いふも。

一個ひとこの近臣きんじん命めいを。汝あんぢの馬うまを牽ひつ。いふも。いふも。立たち。いふも。
 馬うまを浴あびせ。いふも。いふも。麻あしを繫つぐ。いふも。別べつに。絶せつ物ぶつの白銀しろがねを。いふも。
 いふも。調しらへ。横川よこがわに。命めいを。いふも。近臣きんじん命めいを。いふも。馬うまを
 下くだり。牽ひつ。いふも。えの路みちを走はる。いふも。頼信よりぬ朝臣あそも。路みちを。いふも。
 畷山えいざんに。いふも。いふも。

